

WDM通信システム向け光通信用部品の輸入販売を開始

2001年6月27日

会社名 日製産業株式会社

代表者 取締役社長 樋口 紀昭

本社所在地 東京都港区西新橋1丁目24番14号

日製産業株式会社は、このほど、ブロードバンドカンパニーのADCテレコミュニケーションズ社（本社：米国ミネアポリス）と輸入販売代理店契約を締結し、国内の次世代WDM（波長多重伝送）光通信市場向けに、波長チューナブル・レーザーや光ファイバー・カプラーなどの光通信用部品の輸入販売を開始した。

波長チューナブル・レーザーは複数の波長帯に変換・対応することができる半導体レーザーであり、また光ファイバー・カプラーは光の波長を分割または結合する装置。いずれも次世代WDM光通信システムにとって中核となる製品である。

当社は、従来から、海外の大手光通信メーカーに対して、ヒートシンクやレンズ、アイソレータなどの半導体レーザーモジュール用品の輸出を行っており、その事業規模は2000年度で約340億円の実績がある。

ADCテレコミュニケーションズ社は、通信用ハードウェアおよびソフトウェアシステムの製造・マーケティング・販売を行う全世界で従業員23,000人規模の会社で、設立は1935年。「マルチサービス・ソリューション」を掲げ、（1）トランスミッターなどを主製品とする「ブロードバンド（広帯域）アクセス&トランスポート」製品グループ、（2）ファイバー、レーザー、コネクタなどを主製品とする「ブロードバンドコネクティビティ」製品グループ、（3）システムデザイン、ソフトウェアサポートなどを中心とする「総合ソリューション」製品グループを柱に、北米を中心に世界23カ国で、次世代WDM光通信システム向け製品の販売を行なっている。

今回の契約締結は、ADCテレコミュニケーションズ社にとっては、高い成長が期待できる日本、アジア地域において実績化を強力に押し進める狙いがあり、当社にとっては、従来の光通信用部品の輸出に加えて、海外ブロードバンド企業の製品を日本に輸入・拡販する第一弾である。当社は、今後もグローバルなネットワークを活用して、海外の光通信大手との提携を積極的に推進し、次世代WDM光通信市場における競争力強化を図っていく。

事業規模は初年度3億円、2003年度20億円の売上げを見込んでいる。

ADCテレコミュニケーションズ社の概要 (ADC Telecommunications, Inc.)

| | |
|------|--------------------------------------------------|
| 設立 | 1935年 |
| 本社 | 米国ミネソタ州ミネアポリス |
| 社長 | William J. Cadogan (Chairman, President and CEO) |
| 従業員数 | 23,000人 (2001年2月現在) |
| 事業所数 | 23カ国 (2001年2月現在) |
| 売上高 | 32億8,800万ドル (2000年) |
| 事業内容 | 通信ハードウェアとソフトウェアシステムの製造、マーケティング、販売 |

お問合せ先

お問い合わせ頂く前に、当社「[個人情報保護について](#)」をお読み頂き、記載されている内容に関してご同意いただく必要があります。当社「[個人情報保護について](#)」をよくお読みいただき、ご同意いただける場合のみ、お問い合わせください。

お問い合わせ先

情報・生産事業統括本部

情報・生産事業統括本部お問い合わせページへ